



TAKAMIZ

【証券コード6155】 高松機械工業株式会社

第49期中間株主通信

平成21年4月1日から平成21年9月30日

株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援、ご鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、当社は平成21年9月30日をもって第49期第2四半期(平成21年4月1日から平成21年9月30日)を終了いたしましたので、ここに営業の概況ならびに第2四半期決算の状況についてご報告申し上げます。

代表取締役社長 **高松 喜寿志**

当第2四半期の市場動向 および成果

当第2四半期におけるわが国経済は、政府の経済対策やアジア経済の成長を頼みに回復に向かい始めているものの、その効果は一部にとどまり、さらには欧米経済・国内需要の動向、雇用情勢・個人所得の悪化などの不安要素が取り除かれるにいたらず、景気は低迷したままであります。

工作機械業界におきましても、中国を中心とするアジア向けにおいて僅かながら回復が見え始めてきましたが、内外需ともに低調な需要状況であり、自動車関連業界をはじめとする主力ユーザの設備投資意欲が低いままであることから工作機械需要が伸びず、日本工作機械工業会の平成21年4月～9月の受注総額は前年同期比73.3%減少の1,969億円と、目立った回復に至らないまま推移してきました。

当社グループでは「お客様第一主義」の基本理念の下、ユーザニーズを捉えた製品群・システムを提供する提案型営業活動を積

極的に行い、ディーラやユーザに対するプレゼンテーションに力を入れてきました。また、製品メンテナンスを行うための巡回訪問サービスを実施することでユーザとの絆を深めるとともに、情報収集にも努めてきました。

海外に対しましては、中国市場の拡大に向けて注力するとともに、ドイツに設立した現地法人によってこれまで当社が進出していなかった国の新規市場開拓をはかるなど、ヨーロッパ販売網の再編・拡大を進めてきました。また子会社・関係会社との連携を密にすることで海外グループ力の強化をはかってきました。

研究開発では、ユーザニーズに応えた新機種「X-S700」を開発しました。この新機種はこれまで当社にはないタイプであり、また得意とする加工は競合他社が少ないことから需要が見込めます。その他、低迷する需要の中でもニーズが高いと見込まれる低価格・高コストパフォーマンスの新製品開発に取り組んできました。

以上のような活動を行ってきましたが、自動車関連業界などの工作機械ユーザは依然と

して設備投資に慎重であることから、当第2四半期の工作機械受注高が11億20百万円（前年同期比81.0%減）にとどまり、売上高が14億87百万円（前年同期比81.2%減）となりました。

このように非常に厳しい状況に置かれていることで、営業損失が12億1百万円（前年同期は5億71百万円の営業利益）、経常損失が10億66百万円（前年同期は6億10百万円の経常利益）、四半期純損失が6億69百万円（前年同期は2億83百万円の四半期純利益）となりましたが、当社が取り組んでいる残業の抑制、一時帰休、役員報酬および一部従業員給与のカット、ならびに原価・経費の削減などの収益改善策の効果によって、当初計画よりも赤字幅を縮小させることができました。

■ 今後の見通し

日本経済の先行きは、雇用情勢が悪化を続けており非常に厳しい状況にありますが、在庫調整の一巡や輸出の持ち直し、景気対策の効果などによって景気の持ち直しが期待されています。しかしその一方で、依然として景気を下押しするリスクが存在すると憂慮されています。

工作機械業界におきましても、企業の設備投資計画が減少したまま底ばい状態にあり、海外経済も緩やかにしか回復に向かわない中では急激な需要回復が見込める状況になく、全体的な受注動向は低調なままに推移することが想定されます。

当社グループにおきましても、受注環境の急速な好転が見込めないことが予想されるこ

とから、平成21年度連結業績予想を売上高51億22百万円、営業損失16億38百万円、経常損失13億82百万円、当期純損失8億60百万円に修正しております。

この状況の中で当社グループでは、ユーザーニーズに応じて開発する新製品を市場に提供していきます。平成21年10月に開催された国際的な工作機械見本市の「メカトロテックジャパン2009」では、世界最小クラスの6インチ機でありながら、当社従来機よりも性能を向上させた新機種「XC-100」を発表しており、「X-S700」とともに製品性能をアピールして需要喚起をはかり、受注確保に努めていきます。

海外市場では特にアジアが成長すると見込んでいますので、アジア市場に注力し、営業・サービス体制の強化とともにアジア向けの低価格機の開発などにも取り組んでいきます。ヨーロッパ地域では、引き続きこれまで当社が進出していなかった国々の市場開拓を進めていきます。

利益に対して売上高の減少が影響を与えることが見込まれますが、引き続き実施する収益改善策によってその影響を抑えていきます。

IT関連製造装置事業および自動車部品加工事業では、営業活動に注力することで新規受注の獲得をはかっていきます。

このように当社グループの主力であります工作機械業界は、需要回復の見通しが不透明である厳しい経営環境にありますが、強固な企業体質の構築に邁進していく所存でありますので、今後より一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年12月

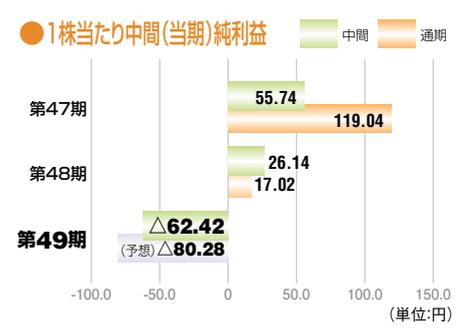
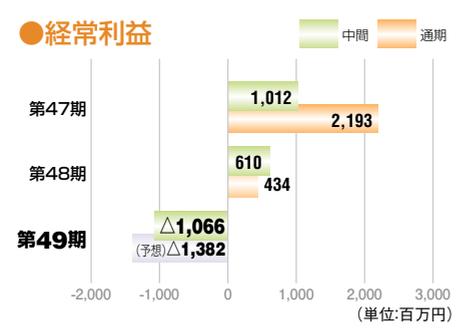
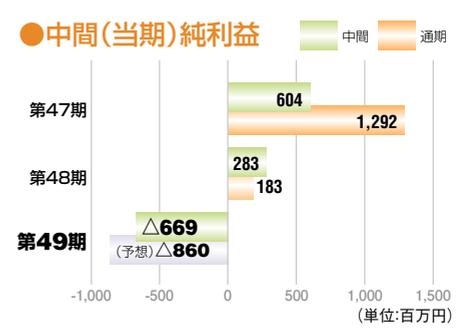
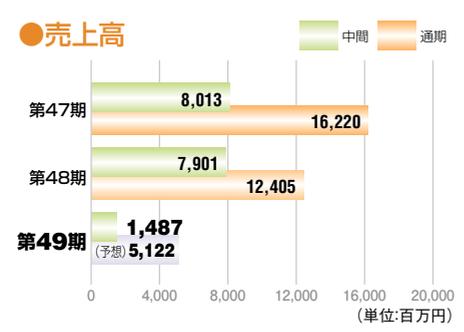
業績の推移

連結業績ハイライト

科 目		第47期 (平成19年度)	第48期 (平成20年度)	第48期中間期 (平成20年度)	第49期中間期 (平成21年度)
売上高	(百万円)	16,220	12,405	7,901	1,487
営業利益又は営業損失(△)	(百万円)	2,109	382	571	△ 1,201
経常利益又は経常損失(△)	(百万円)	2,193	434	610	△ 1,066
中間(当期)純利益又は中間純損失(△)	(百万円)	1,292	183	283	△ 669
純資産額	(百万円)	9,349	9,234	9,502	8,573
総資産額	(百万円)	16,184	12,670	16,049	11,087
1株当たり中間(当期)純利益 又は中間純損失(△)	(円)	119.04	17.02	26.14	△ 62.42
1株当たり純資産額	(円)	858.91	857.72	873.97	795.36

(注) 1 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2 四半期開示制度に伴う会計基準の変更がありますが、従来の中間期という表現で掲載しております。



中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当中間期 (平成21年9月30日)	前期 (平成21年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	5,956	7,655
現金及び預金	3,400	2,853
受取手形及び売掛金	958	2,996
商品及び製品	235	240
仕掛品	460	492
原材料及び貯蔵品	574	718
その他	329	356
貸倒引当金	△ 0	△ 3
固定資産	5,130	5,014
有形固定資産	4,036	4,201
建物及び構築物(純額)	1,201	1,248
土地	1,522	1,522
その他(純額)	1,311	1,430
無形固定資産	49	55
投資その他の資産	1,045	757
その他	1,046	761
貸倒引当金	△ 0	△ 3
資産合計	11,087	12,670

(単位:百万円)

科目	当中間期 (平成21年9月30日)	前期 (平成21年3月31日)
(負債の部)		
流動負債	1,769	2,712
支払手形及び買掛金	599	1,940
短期借入金	930	478
未払法人税等	6	-
賞与引当金	92	70
役員賞与引当金	-	20
製品保証引当金	12	22
その他	128	181
固定負債	743	723
退職給付引当金	478	463
役員退職慰労引当金	233	226
その他	31	34
負債合計	2,513	3,436
(純資産の部)		
株主資本	8,482	9,183
資本金	1,835	1,835
資本剰余金	1,833	1,833
利益剰余金	4,935	5,637
自己株式	△ 121	△ 121
評価・換算差額等	41	9
その他有価証券評価差額金	48	28
為替換算調整勘定	△ 6	△ 19
新株予約権	48	41
少数株主持分	-	0
純資産合計	8,573	9,234
負債純資産合計	11,087	12,670

(注) 1 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2 四半期開示制度に伴う会計基準の変更がありますが、従来の中間期という表現で掲載しております。

中間連結財務諸表

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	(自 平成21年4月 1日 至 平成21年9月30日)	(自 平成20年4月 1日 至 平成20年9月30日)
売上高	1,487	7,901
売上原価	1,779	5,989
売上総利益又は売上総損失(△)	△ 291	1,911
販売費及び一般管理費	910	1,340
営業利益又は営業損失(△)	△ 1,201	571
営業外収益	143	52
営業外費用	7	12
経常利益又は経常損失(△)	△ 1,066	610
特別利益	15	-
特別損失	0	1
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△ 1,051	609
法人税、住民税及び事業税	5	317
法人税等調整額	△ 387	8
少数株主損失(△)	△ 0	△ 0
中間純利益又は中間純損失(△)	△ 669	283

(注) 1 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2 四半期開示制度に伴う会計基準の変更がありますが、従来の中間期という表現で掲載しております。

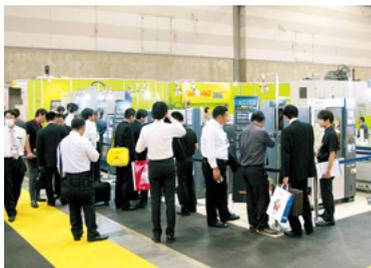
中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	(自 平成21年4月 1日 至 平成21年9月30日)	(自 平成20年4月 1日 至 平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	71	△ 296
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,306	342
財務活動によるキャッシュ・フロー	419	△ 264
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	△ 7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 809	△ 225
現金及び現金同等物の期首残高	1,715	1,159
現金及び現金同等物の中間期末残高	906	933

(注) 1 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2 四半期開示制度に伴う会計基準の変更がありますが、従来の中間期という表現で掲載しております。



会場風景



新製品「XC-100」の説明

メカトロテックジャパン2009

平成21年10月14日から17日までの4日間、ポートメッセなごやで工作機械およびその関連製品などを展示紹介する「メカトロテックジャパン2009」が開催されました。最近の低迷する工作機械需要を鑑みますと、来場者の動向が気がかりでしたが、2年前の開催とほぼ変わらない9万人を超える方々が足を運ばれました。

当社は新製品を含めた7機種を出展し、初披露しました「XC-100」は従来機よりも動力性能や加工精度を向上させながらも、15%の省スペース化を実現させた製品です。ユーザでは、省エネ、省スペースにより、単位面積当たりの生産性を求める要望が強く、この製品に対するご来場者の反応も上々で受注の商談も賑わいをみせておりました。

第39回 機械工業デザイン賞を受賞

当社のCNC精密旋盤「XY-2000PLUS」が日刊工業新聞社主催の機械工業デザイン賞「審査委員会特別賞」を受賞いたしました。機械工業デザイン賞は、わが国工業製品のデザインの振興・発展を目的として1970年に創設されました。

今回受賞しました「XY-2000PLUS」は、欧米市場を強く意識した外観デザインを取り入れたリニューアル機です。この製品は外観デザインが機械の一機能として重視される欧州で好評を得て、人気製品となりました。

新製品の開発においてデザインは重要な役割を担っておりますので、今後も先端的製品の開発に取り組んでいきます。

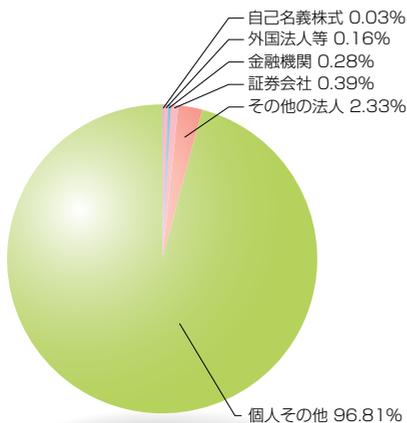


株式の状況 (平成21年9月30日現在)

株式の状況

- ①発行可能株式総数……………30,000,000株
- ②発行済株式総数……………11,020,000株
- ③1単元の株式数……………100株
- ④株主数……………3,090名

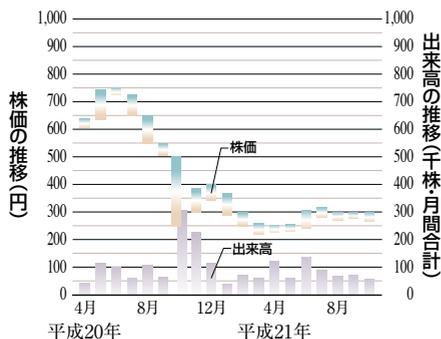
所有者別分布状況



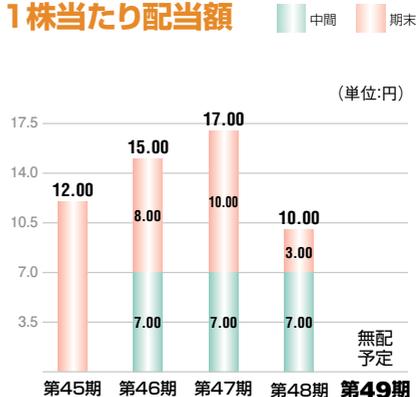
大株主

株主名	当社への出資状況	
	所有株式数(千株)	持株比率(%)
高 松 喜 与 志	1,117	10.14
高松機械工業取引先持株会	547	4.97
日本生命保険相互会社	480	4.36
高松機械工業社員持株会	445	4.04
北国総合リース株式会社	433	3.93
株式会社北国銀行	408	3.70
三井住友海上火災保険株式会社	408	3.70
明治安田生命保険相互会社	360	3.27
高 松 明 毅	332	3.02
株式会社朝日電機製作所	330	2.99

株価インフォメーション



1株当たり配当額

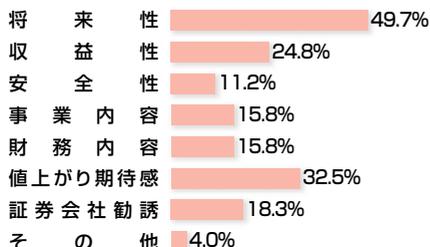


アンケートのご報告

第48期株主通信に同封しました「株主アンケート」におきましては、たくさんのご回答をいただき誠にありがとうございました。アンケートの集計が完了しましたので、その一部ですがご報告させていただきます。

アンケート回答数 717名
アンケート返信率 22.7%

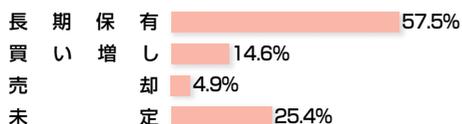
●当社の株式を購入された理由はなんでしょうか？(複数回答可)



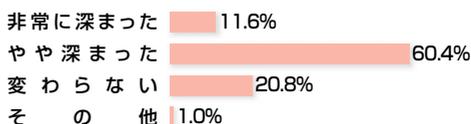
●当社のIR活動について今後、望まれることをひとつお選びください。



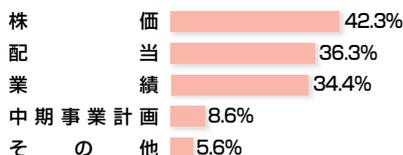
●当社の株式について今後どのような方針をお持ちですか？



●株主通信をご覧になって、弊社に対する理解は深まりましたか？



【上記方針を決定するための判断材料はなんでしょうか？(複数回答可)】



321名の皆様よりいただいたご意見・ご質問の中からその一部をご紹介します。貴重なご意見をいただきありがとうございました。

- 株を購入するまで知らなかった。IRをもっと行い知名度を上げることが重要です。(60代男性)
- 景気に左右されない得意技術を活かした新事業の検討をして下さい。(70代男性)
- ヨーロッパや中国市場の開拓は出遅れ感を否めません。(30代男性)
- 世界的な景気低迷による悪影響はわかるが、無配とは驚きました。(70代男性)

株主の皆様からいただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、企業価値の向上およびIR活動の拡充に努めてまいります。今後とも更なるご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

会社の概要 (平成21年9月30日現在)

会社概要

商号	高松機械工業株式会社
設立	昭和36年7月
資本金	18億3,539万円
本社	石川県白山市旭丘1丁目8番地
従業員数	403名
子会社および関連会社	TAKAMATSU MACHINERY U.S.A., INC. TAKAMATSU MACHINERY (THAILAND) CO., LTD. TAKAMAZ MACHINERY EUROPE GmbH 株式会社タカマツエマグ 杭州友嘉高松機械有限公司 株式会社エフ・ティ・ジャパン
ホームページアドレス	http://www.takamaz.co.jp

役員

代表取締役社長	高松 喜与志
常務取締役(生産本部担当)	田 充夫
常務取締役(営業本部担当)	前 西与平
常務取締役(管理本部担当)	中 西与平
取締役(営業本部副本部長兼国内営業部長)	溝口 清
取締役(品質保証部長)	川上 友安
取締役(生産本部副本部長兼製造部長)	水 上 喜義
取締役(営業本部海外営業部長)	宮 川 隆
取締役(生産本部生産管理部長)	徳 野 穰
取締役(社外)	中 川 進
常勤監査役(社外)	中 西 祐一
常勤監査役	砂 崎 友和
監査役(社外)	池 上 佳信
	鍛 治 敏弘

ネットワークとサービス体制



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
株主確定基準日	(1)定時株主総会 3月31日 (2)期末配当金 3月31日 (3)中間配当金 9月30日 (4)その他必要ある時 あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人 および
特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-176-417
(インターネットホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法 当社ホームページに掲載 <http://www.takamaz.co.jp>

上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

お問い合わせ先 管理本部 企画経理部
TEL 076-274-1411(直通) FAX 076-274-1418



本社工場(工作機械事業)



第2工場(コレットチャック生産)



第3工場(自動車部品加工)



開発センター(IT関連製造装置)

製品のご紹介



NEW [XC-100]



NEW [X-S700]



**ECO
推奨**

[XW-30]



TAKAMAZ

高松機械工業株式会社

ホームページ <http://www.takamaz.co.jp>